

# Perfect BOAT & YACHT

SIGHT CAR TRAVEL WATCH FASHION CUISINE LIFESTYLE

## RANCHI 60 FLY

1  
JAN 2018

SPECIAL

# TALIAN COMFORT

*CRANCHI 60 FLY*

1870年創業。147年にわたる歴史と伝統に裏付けられた信頼のビルダー「CRANCHI(クランキ)」。

ファミリークルーザーを中心に建造し続け、イタリアや南仏で広く愛されてきた。

今では年間500隻を堅実に建造するビッグビルダーに成長。その信頼の「CRANCHI」に、世界が注目するデザイナーChristian Grandeが合流。

進化するデザイン、加速する世界戦略。GRANCHIO(イタリア語で『蟹』)と愛称で呼ばれヨーロッパで愛され続けた蟹のロゴ。

日本でもゆっくりと確実に広がりを見せ、「CRANCHI」は歴史を刻み始めている。

text: Yoshinari Furuya photo: Makoto Yamada

special thanks: RIVIERA ZUSHI MARINA [www.riviera-r.jp/zushi-marina/](http://www.riviera-r.jp/zushi-marina/)



イタリアや南仏で愛され、147年の歴史を刻む「CRANCHI」  
なデザイン、シンプルで実用的なインテリア、低燃費で軽快な走りに新時代のイタリアを感じる

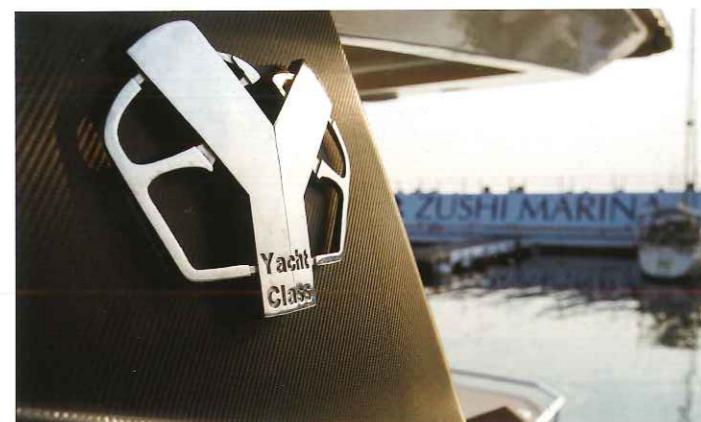
「CRANCHI(クランキ)」のインポーターとして知られる「リビエラリゾート」。1968年開業のシーポニアマリーナ、1971年開業の逗子マリーナという歴史ある2拠点を有するリビエラリゾートが、インポーターとして選び、パートナーとして歩み始めた「CRANCHI」。伝統のリーヴァの創業から28年後、フェレッティ創業から2年遅れの1870年がクランキの創業年。その頃、日本の年号は明治3年。日章旗が正式に国旗となり、平民苗字許可令が施行されたその年すでにクランキのボート建造が始まっている。日

本のプレジャーボート創世記から歴史を刻む2つのマリーナは、歴史ある「CRANCHI」を取り扱うに相応しい伝統と気品を兼ね備えたインポーターとして期待に応えている。

\*

逗子マリーナのメイン桟橋に係留された「CRANCHI 60 Flybridge」。そのエッジの効いたスタイリングが身にまとうカラーは「ブラジルブラウン」。世界的な流行となったメタリックカラーよりさらに深く濃いダークカラー。





CRANCHIのトレードマークは蟹。イタリア語で蟹をGRANCHIOと言い、初代から愛称で呼ばれていたという。蟹のマークや蟹をモチーフにしたデザインが至る所に見られる。ロゴ以外にも、ヘルムシートの刺繍や金物の刻印、ハッチの金具の形状まで蟹の形も、蟹の爪のように見える。

差しのもとではブロンズのように発色し、暗く陰に入れば、黒に近づくグレーやダークブラウンにも見える。ハルカラーは生き物のように、カッティングエッジなスタイリングを際立たせる。

「ANCHI 60 Fly」の魅力は、印象的なスタイリングにトレンドを押さずアビテリア。そして、シンプルで居心地の良いアコモデーション。特徴的なキャビン側面を目一杯に使う大型のサイドウインドウは、サロンを明るく適切な空間にする。また、ヘルムシートからの死角も少なく、ロアーストヨンでもヘルムをしやすい。

サロン後方は対面のソファ。U字ソファとI字ソファが向かい合っている。ワインセラーの向かい側には、シャンパングラスやタンブラー、テーブルウェアやボトルが収まる専用ラック。どちらかといえばギャレーの一部に

中央にあり揺れが少なく、視界が良く操船しやすいポジション。その横、ポート側には、ロアーステーションと同じ高さにステップアップしたアップギャレー。ヘルムマンと会話しながら、周辺をワッチしながら料理をすることができる。船に弱いゲストもこのシービューがあれば、料理に参加することができるだろう。大型の冷蔵庫はカスタム仕様。スタンダード仕様は、カウンターに収まるサイズ。そして、限られたギャレーの収納を補う工夫、

ヘルムシートの下にはサロン側に向けられた大型のワインセラー。その横、ナビゲーターシートの下には、お皿やエスプレッソカップが収まる収納庫。ワインセラーの向かい側には、シャンパングラスやタンブラー、テーブルウェアやボトルが収まる専用ラック。どちらかといえばギャレーの一部に

ヘルムステーションがあるようなレイアウト。走行中には、ギャレーは使わないので、ヘルムステーションとして。停泊中は、ヘルムシート周辺を含む全体がギャレーとして機能する。限られたスペースを有効に使う実用的なデザインだ。

サロンフロアは清潔感のあるフローリング。キャビンドアを全開にすれば、サロンエリアからアフトのラウンジソファまで全面が、開放的なアウトドアリビングに。アフトデッキのソファ後方には、トランサムから飛び出したサンベッド。空間を有効に使い、サイズ以上の広さをしてくれる。

ヘルムステーションのスター・ボード側からロアーキャビンに降りる。バーベースはVIPルーム。アイランドベッドに専用のトイレと独立したシャワー

ルーム。ポート側にはツインやダブルに変化するゲストルーム。独立したシャワールームはないが、専用トイレがあるのは贅沢。ギャレーの下にあたるミジップには、大型サービスウインドウと丸いオープンポートハッチを備えたフルビームのマスターステートルーム。フラットなフロアに、天井高はゆとりの1,930mm。左右サービスウインドウの下には、シューズロングとロータイプのロッカー。それとは別にウォークインクローゼットもあるので収納が足りなくなることはないだろう。思い切りお洒落を楽しむことができる。

\*  
フライブリッジはパーティースペース。スタンジ側には6人がゆったり座



クルマを描くシートは広々としたベンチシート。前方や右舷側はサンバードで埋められつつろぎの空間へ。ヘルムステーションの前部にはハンドレールやカップホルダーが備わり快適。



れるU字ソファ。BBQグリル、シンク、冷蔵庫、製氷機など必要なものが、コンパクトに収まるウェットバーがパーティーを盛り上げる。ヘルムステーションはコンパクトだが、大型のモニターを設置することもできる機能的なもの。バウ側には、広々としたサンタヌースペース。ヘルムステーションの前方には、目立たないが使いやすいハンドレールとドリンクホルダーがあり快適。ヘルムシートの対面には美しい円を描くシューズロング。そして、一番のお気に入りは、フライブリッジのビミニトップ。日差しは遮るが風は抜ける、細かいメッシュタイプ。それを支えるのは、ハンドレールと一緒にした大口径のステンレスフレーム。力強く美しくデザインされている。畳めば、前方の3本は、このステーに美しく沿わせることができる。FRP製のレーダーアーチのように視界を遮らず、ボートデザインを壊すことなく目立たずに美しい。

そして、バウデッキも機能的にデザインされている。トレンドのソファは4人がゆったりと座ることができ、ゲストに人気のラウンジスペースとなる。サンベッドは立体的で寝心地が良く、すぐ横にはカップホルダーやスピーカー、オーディオコントローラーも備わる周到ぶり。格納されているキャノピーを立てれば、日差しや後方からの視線をさえぎるシェードとなり、プライバシーが守られた特等席となる。「CRANCHI」の伝統、経験値の高さ

が、細部の心配りと美しく機能的なデザインを生む。

再びスタンへ。トランサムステップは、海水浴の主役。前後に1,700mmあるステップは人気の昇降式。テンダーを搭載することもできる余裕のサイズとパワー。サンベッドと一緒にトランサムは油圧で開閉し、ライフラフトやフェンダー、水中スクーターのガレージとなる。また、フライブリッジに上がるステップの下段を開ければ、そこにはユーティリティスペース。クルールームとしてベッドを入れることもでき、安全備品やマリントーイをたっぷりと搭載することができる。ガレージやユーティリティスペース



クルージングライフを充実したものにしてくれる。

アフトデッキのスターボード側にはウェットバーとジョイステイックコン

クール。ポートにはフライブリッジに上がるための、クランキ独特のス

テップ。FRPで成形されていないスケルトンのステップは、アフトデッキを

見せる。チークのステップは45mmもの厚みがある無垢材。滑りにくく安心感がある。

VOLVO PENTA IPS950が収まるエンジンルームはアフトデッキの真下。

ドアを開けてボトムまで降りる。前後長4,500mm、天井高1,780mmの

広いエンジンルームにD-11エンジンとIPSドライブがコンパクトに搭載されている。メンテナンスしやすいクリアランスを確保しながら、船体後方に集約。広大なキャビンスペースを生み出している。

\*

逗子マリーナ沖は初冬の薄曇り。風も波もほとんどない穏やかな海。地中海の強い日差しとはいかないが、雲間から日が差すクルージング日和となった。フライブリッジでジョイステイックを操り出航、ジョイステイックからスロットルレバーに持ち替え、相模湾の風を受ける。エンジンはVOLVO





サロンクルーザーはナイトタイムも重要。ライティングは、ポートデザインの一部。キャビンやデッキのダウンライトの他に、サイドデッキやステップを彩る間接照明がボートを美しく見せる。水中ライトはトランサムと同じ妖艶なブルーに輝き、水上のボートを、浮き上がらせ、船上パーティーに華を添える。CRANCHIの演出は、ゲストを呼びたくなる魅力に溢れている。



PENTA D-11。725馬力のパワーユニットとPOD ドライブの組み合わせによるIPS950。インボードの950馬力相当と言われる効率の良い走りが、コンパクトで低燃費を実現する。

1,000回転で8.8ノット、1,200回転で10.3ノット、時間当たり60Lの消費燃料。1,400回転で12.1ノット、1,600回転で13.7ノット、1,800回転で18.3ノット、2,000回転で21.7ノット、2,200回転で27.7ノット、クルーズスピードは、2,100～2,200回転の25～27ノット。消費燃料は200～230L/h。そして、トップスピードは2,350回転で32.1ノットと記録された。60フィートならではの安定感あるマニューバーと、IPSらしいスポーティなハンドリングのバランスが見事。ジョイステイックとスポーティなマニューバビリティが60フィートを感じさせないイージードライブを叶えてくれる。

「CRANCHI」のデザイン全てに感じるフィロソフィ。それは、イタリアンポートでありながら、懲り過ぎないミニマルなデザイン。使ってみると気づくホスピタリティの高い実用的で合理的なエクステリア。そして、機能的で飽きのこないシンプルなインテリア。それこそが、「CRANCHI」のキャラクター。永く愛され続ける理由、造り手の姿勢を感じることができる。P.B.

#### CRANCHI 60 Fly

全長 18.52 m  
全幅 4.85 m  
喫水 1.32 m  
重量 26.0 ton  
エンジン 2x VOLVO PENTA D11 IPS950  
最高出力 2x 725 HP  
燃料タンク 2,100 L  
清水タンク 540 L  
問い合わせ先 リビエラリゾート 遊子マリーナ TEL: 0467-24-1000  
[www.riviera-r.jp/zushi-marina/](http://www.riviera-r.jp/zushi-marina/)

facebook



SEA TRIAL

# NEW NORMAL

## CRANCHI T43 Eco Trawler



「CRANCHI T43」のTはTrawlerの頭文字。

「T40」「T43」「T53」の3モデルをラインナップするCRANCHIの人気ラインTrawler Collectionのこと。

CRANCHIが提案するトローラーは「ECO Trawler」として明確な特徴を見せてくれる。

text: Yoshinari Furuya photo: Makoto Yamada

special thanks: RIVIERA ZUSHI MARINA [www.riviera-r.jp/zushi-marina/](http://www.riviera-r.jp/zushi-marina/)

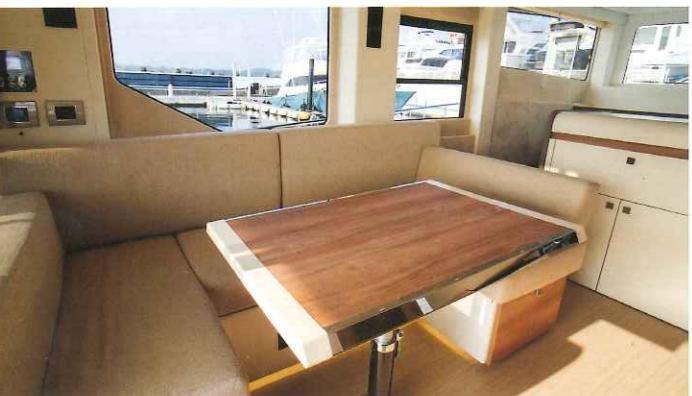


モダンクラシカルなフォルムとエクステリアに、  
シンプルで上質なインテリア  
43フィートにして3キャビンを誇る、  
「Eco Trawler」という名の  
新世代ファミリークルーザー

Trawler(トローラー)とは本来、伝統的な漁船やタグボートなどプロユースのボートからインスピアされたデザインで、波に強く燃費が良い排水型のボトムに豪華で快適なインテリアを備えたクルージングボートのことを指していた。排水型のボトムは10ノット前後のスピードだが、燃料消費量は少なく、1,000マイル以上のロングレンジを可能にした。大西洋を横断できるトローラーも現れ、トローラーは長距離航海に向くPassage Makerとしても知られるようになった。

また、長期間の船上生活を快適にするための、チークをふんだんに使った快適なインテリアも特徴の一つ。そのため、トローラーの外観でも走りでもなく、インテリアを見て購入を決め、洋上の別荘としてマリーナライフを楽しむ人も多い。北米のインサイドパッセージでは、リタイアした老夫婦がクルージングに好んで使い、憧れのボートとして知られている。トローラーは、時間にゆとりのあるクルージング派や秘境を航海するエクスプローラーに愛されてきたのだ。

その後、人気は世界に広がり、「トローラー」=「クラシカルなスタイリング、波に強い、低燃費、ロングレンジ、木を多用した重厚なインテリア、艇速は遅い」というイメージが定着した。その北米中心のトローラーに対抗して、ヨーロッパビルダーが新たなトローラーを建造。デザインはモダンクラシカル。地中海的な明るく快適なインテリアと、ヨーロッパでは必須の日光浴をするためのエクステリアが取り入れられた。低速では排水型のような走りをする半滑走型のボトムデザインに、北米のトローラーほどは重くない船体。トップスピードは20ノットを超え、「ファストトローラー」として



ト。トライショナルなトローラーともサロンクルーザーとも違う、新しさに満ちたデザインは、ヨーロッパのカスタマーを虜にした。

一方で、ヨーロッパの影響を受けた北米のトローラーも20ノット以上のスピードを出すようになる。エコロジーな時代背景もあり、低燃費を特徴とする「エコトローラー」や「ロングレンジトローラー」として多くのビルダーがニューモデルを発表。低燃費で、波に強く、低速での安定性が高いボ



ファミリーカルーザーに人気のアフトギャラリー。アフトデッキとサロンの両方に接するので、ファミリーが料理に参加しやすく、料理中でも会話を交わすことができる。リアウンドウを跳ね上げるとカウンターキッチンとなり、アフトデッキにサーブしやすい。

トムデザインを持つ新世代のトローラーは、どこかクラシカルなのにモダンというエッジの効いたデザインが世界的に人気を集めている。その流れから生まれたコレクション、それが「CRANCHI」のTrawler Collectionというわけだ。

\*

「CRANCHI T43」の特徴は、キールを持つボトムデザイン。幅およそ100mm、高さは最も高いところで120mmのキールが、バウからドライブの手前まで伸びている。チャインのエッジ部分は少し盛り上がり、水を掴む。キールは直進安定性と波切りのために。そしてチャインは低速や停泊時のローリングを抑える役目も果たす。最新のボトムデザインに、43フィート에서는 小排気量の330馬力 2基を搭載。高効率のVOLVO PENTA IPS450が、走りと低燃費を実現する。

逗子マリーナのメイン桟橋からジョイステイックを操作し離岸する。キールの抵抗を受ける「T43」は、ゆっくりと離岸し、横流れは少ない。リバースチャインがローリングを最小に抑え、安定した移動をみせる。



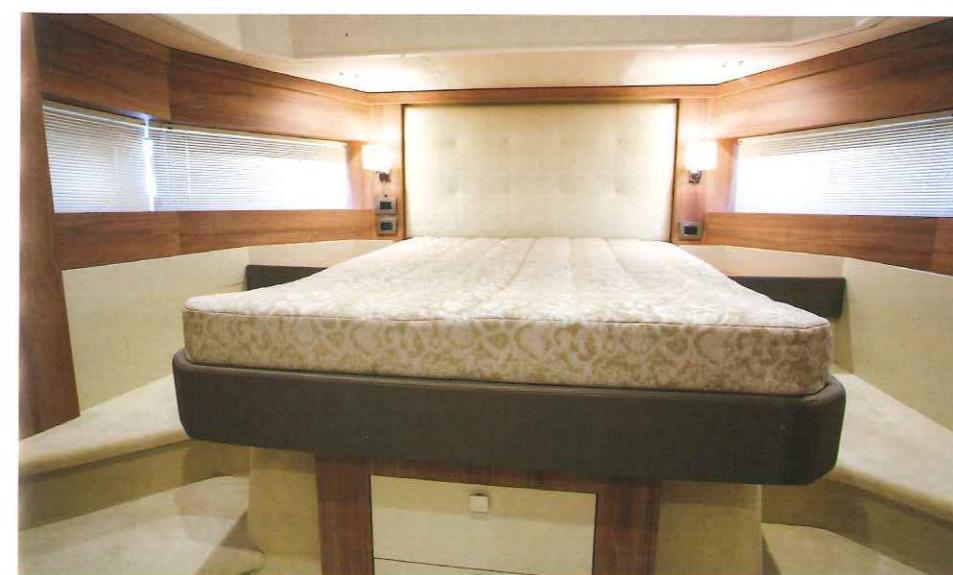
航路を出てスロットルを倒し加速する。エンジン音、排気音は静か、振動もフライブリッジではほとんど感じられない。風切り音や波の音にかき消される程だ。艇速は1,000回転で5.2ノット、2,000回転では8.6ノット。この時の消費燃料は36L/h。トルク感はないが、ハンドルもせず、抵抗の少ないボトムデザインにより加速はスムーズ。柔らかく心地よい走り。ふわふわした浮遊感やソフトな波当たりは他には無い感覚。2,500回転で10.6ノット。3,000回転で13.8ノット。3,000～3,200回転 15～16ノットが通常のクルージングスピード。そして、MAXは3,500回転で21.5ノットを記

録した。エコを優先させると10ノット程度で走りたいところ。いざとなれば20ノットで走ることもできる安心感もある。

マイルドなハンドリングを楽しみながら20ノットでマニューバを描く。IPS独特のクイックな旋回はない。バンクも控えめ。だからと言って、オールドスタイルのキールボートのように逆バンクするわけでもない。スピードに相応しい緩やかなレスポンスで、イメージ通りに旋回する。

\*

繊細なボトムに対して、エクステリアの特徴はわかりやすい。スクエア



バウバースはマスターステートルーム。ミッドのゲストルームの一つは、マスターステートのダブルベッドとほぼ同じサイズのダブルベッドルーム。もう一つは、部屋の広さは同じで収納棚を設けたシングルベッドルーム。この3キャビンバージョンの他に、同じダブルベッドルームを2つ並べた3キャビンバージョンと、壁を取り除きアイランドタイプのダブルベッドを横向きに置いた2キャビンバージョンもある。使い方やクルーに合わせた選択ができる。



テーブルやウェットバーの扉、ステップなどに使われている無垢のチークがエクステリアのアクセント。エンジンは330馬力のコンパクトなボルボペンタD6 IPS450。コンパクトなエンジンルームが、クラスを超えたアコモデーションを可能にし、キールを持つ最新のボトムデザインが、トローラーに求められる安定性、凌波性、経済性を実現する。

ストレートなラインの組み合わせ。スターからバウに向かい、ブルワーストレーに高くなっていく。そして、四角い箱を置いたようなキャビンフロントウンドシールドも、サイドウンドウもほぼ垂直。フライブリッジの境目となるイーブスもストレートで水平。

バウデッキも充実。バウエリア全面を利用した2人掛けのソファと2人のサンベッドが、ドッグハウスを覆う。スクエアなデザインがクラスを超えたエクステリアを可能にした。

\*

キャビンスペースもクラス最大。窓や壁は垂直でスクエア。窓も大きく開放的で、陸のエクステリアやインテリアに近い。レイアウトは、人気のアフトギャレー。アフトデッキ側のリアウンドウは、跳ね上げるとカウンターとなる。2口のコンロに丸型のシンク、オープンレンジのほか、扉を開けるとシャンパングラスやエスプレッソカップ、スプーンやフォークなど6人分のテーブルウェアが安全に収納されている。ポート側には4人が座ることができるU字ソファ。ギャレーの前方、スター・ボード側にヘルムステーション。ヘルムステーションの左側には、長距離航海には欠かせないクルージングガイドやチャートを収納するための専用ロッカー。蓋を閉めれば、そ

の上がチャートテーブルとなる。

アコモデーションもクラスを超える3キャビン。バウバースはマスターステートルーム。直立したステムとステム近くまでボリュームを残したバウバースは広く開放的。ダブルのアイランドベッドに大型のハンギングロッカー。左右のシービューウンドウとトップライトにより、明るく快適な空間。専用のトイレや独立したシャワーブースも広くゆったりしている。ローアーキャビン後方のミジップはセンターで2つに分けられたゲストルーム。一つはツインのゲストキャビン。もう一つは収納の多いゆとりのシングルキャビン。2部屋兼用のゲスト用トイレとシャワーブースも広く明るい。その他、左右対称の2つのツインゲストルームバージョンや、ミジップ全面を使いアイランドスタイルのダブルベッド1つを横向きに設置し、マスター・ステートルームかVIPルームとして使う2キャビンバージョンも選ぶことができる。何れにしても43フィートとは思えない広い空間と贅沢な造りだ。

明るくモダンな地中海スタイルのエコトローラー。スクエアなデザインはカッティングエッジなデザインだけでなくスペース効率も高い。長い水線長やクラスを超えた広いキャビンスペースを可能にする。そして、最新のボトムデザインとコンパクトでエコなエンジンが、スムーズな走りと低燃費を実現する。「CRANCHI」の建造するエコトローラーが、トローラーの未来を切り開く。P.B.

#### CRANCHI T43 Eco Trawler

全長 13.80 m  
全幅 4.37 m  
喫水 0.90 m  
重量 13.7 ton  
エンジン 2x VOLVO PENTA D6 IPS450  
最高出力 2x 330 HP  
燃料タンク 1,450 L  
清水タンク 540 L  
問い合わせ先 リビエラリゾート 潮子マリーナ TEL: 0467-24-1000  
[www.riviera-r.jp/zushi-marina/](http://www.riviera-r.jp/zushi-marina/)



YouTube